

平成13年度社会保障財源の概要

平成13年度の社会保障財源の総額は90兆3,902億円である。

(1) 項目別割合をみると、社会保険料が62.1%、税が29.5%、他の収入が8.4%となっている。

(2) 対前年度比は0.26%の増加となった。

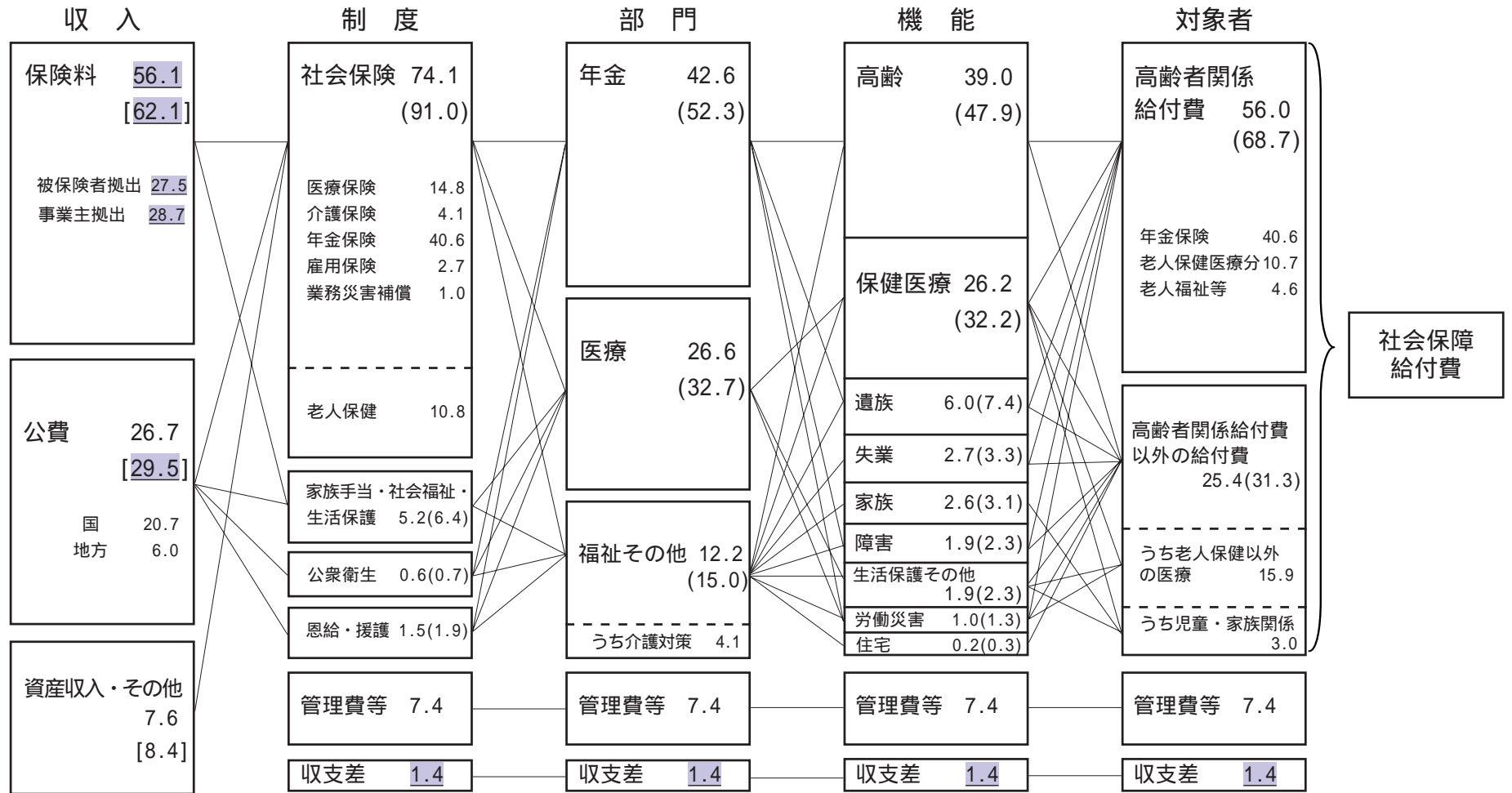
表7 項目別社会保障財源

	平成12年度	平成13年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
計	901,562 (100.0)	903,902 (100.0)	2,340	0.26
社会保険料	549,694 (61.0)	561,257 (62.1)	11,563	2.10
事業主拠出	283,106 (31.4)	286,537 (31.7)	3,431	1.21
被保険者拠出	266,589 (29.6)	274,720 (30.4)	8,132	3.05
税	252,184 (28.0)	266,922 (29.5)	14,738	5.84
国	197,066 (21.9)	207,075 (22.9)	10,009	5.08
地方	55,118 (6.1)	59,847 (6.6)	4,729	8.58
他の収入	99,684 (11.1)	75,724 (8.4)	23,961	24.04
資産収入	64,976 (7.2)	43,464 (4.8)	21,512	33.11
その他	34,708 (3.8)	32,259 (3.6)	2,449	7.06

(注) ()内は構成割合である。

図3 収入、制度、部門、機能、対象者からみた社会保障給付費（2001（平成13）年度）

（単位：兆円、％）



（注）

1. 「児童・家族関係」は、社会保障給付費のうち、医療保険の出産育児一時金、雇用保険の育児休業給付、保育所運営費、児童手当、児童扶養手当等である。
2. 平成13年度の社会保障収入は90.4兆円（他制度からの移転を除く）であり、[]内は社会保障収入に対する割合。
3. 平成13年度の社会保障給付費は81.4兆円であり、()内は社会保障給付費に対する割合。
4. 「収入」から「制度」の「管理費等」、「収支差」への矢印は省略した。